



ご卒業おめでとうございます

主な内容

- | | | | |
|-------------------------|-----|--------------------|---|
| ●卒業生に贈る言葉 総長・学長 | 2 | ●平成23年度学長賞表彰 | 6 |
| ●卒業生に贈る言葉 ~各会長からのメッセージ~ | 3 | ●学長賞受賞者・団体のコメント | 7 |
| ●学園を去るにあたって | 4・5 | ●サークル活動報告・卒業生の皆さんへ | 8 |

卒業生に贈る言葉



平常無事を祈る

総長 田中 良昭

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。昨年の卒業式は、その半月前の3月11日午後に発生した東日本大震災のために中止を余儀なくされましたので、本年こうして卒業式を迎えられたことは、誠に喜ばしいことといわねばなりません。

私が本学に入学したのは、昭和28（1953）年4月のことです。今からおよそ60年前になります。当時は卒業式が3月15日、入学式が4月15日でした。それが時代と共に卒業式が遅く、入学式が早くなった結果、今日のようなスケジュールになったのです。

昨年はそのいずれもが中止となり、新学期が5月の連休明けからのスタートでしたから、まさに異常事態でした。この異常に対し、「いつもどおり」という意味の平常という言葉がありますが、世の中には平常ばかりでなく異常も起こりうることを、まざまざと知らされました。同時に異常が起こる世の中で、平常であることがいかに貴重なことなのかを噛みしめることができたのも、震災の教訓といえましょう。

この異常と平常と同じ意味合いを示す言葉に、有事と無事があります。すなわち有事は、世の中の平和が乱されるような場面を想定し、その事態を「有事の際には」などといって警戒をうながすのに用いられますが、無事は、「ご無事で」という挨拶言葉があるように、何事もなくあるがままの心境を表す言葉といえます。禅語にも、「平常心是れ道」とか「無事はれ貴人」といって、平常であり無事であることが、理想の生き方とされるのです。みなさんの平常無事を祈ります。



社会の希望となる

学長 石井 清純

ご卒業おめでとうございます。

皆さんは、いよいよこれから社会へと船出して行きます。その社会は、今、大きな変革を経験しつつあります。

東日本は、3月11日に発生した大地震とそれとともなう大津波によって、未曾有の大災害に襲われました。その際、マスコミは、自ら被災しながらもなお、他の人々を助けるために懸命に働く人たちの姿を報じていました。そして、その人たちの多くが、そうすることで自らも救われたと後になって語っていました。

多くの人が、人のつながりを、この未曾有の大災害を契機に強く認識し始めたように思われます。昨年、「今年の漢字」に選ばれた「絆」という文字も、このような「結びつき」を象徴的に示した言葉といえるでしょう。

この「結びつき」は、本学の建学の理念である、「釈尊の教え」と「禅のこころ」とも密接に関連しています。

仏教の基本は、「この世界のすべてのものは単独では存在せず、他者との結びつきで初めて成り立つ」という「縁起」の考え方です。そして、その教えを最もポジティブに受け止める「禅」は、「結びつき」の中で慈しみの心をはたらかせ、ひろく他者のために積極的に活かしていくことを基本姿勢としています。

本学を卒業する皆さんは、その点を深く胸に刻み、これからの日本の復興を担う原動力となっていただきたいと思います。

東日本大震災復興構想会議の提言は、「復興への提言～悲惨のなかの希望～」と題されていました。卒業生の皆さんには、これからの社会の中で、人々の希望となるような活躍を期待しております。



「絆」という言葉を耳にすることが多くなった。この絆という字は馬の足を繋ぎ止める紐が原義であるが、今では「結びつき」という意味になっている。人と人を結ぶ手立てをメールや携帯に頼るようになって久しいが、3.11以降、互いに絆を結び合おうとする、心と心のより深い交流の機運が高まったように感じる◆被災地に行った東京の女性警察官が壊れた信号機の下で交通整理をしていた際、子どもたちが「こ

んにちは。ありがとうございます。」と笑顔で挨拶してくれた。溢れる涙を隠すため制帽を深く被りなおした。自分に向けられた笑顔は、今でも忘れられない◆東京に戻ると、数通の手紙が被災地の小学校から届いた。僕たちも大変だけど頑張るから、皆さんも頑張ってください――子どもたちとの間に見えない結びつきを感じたという◆時折、研究室に卒業生が訪ねてくる。外出先で出会う時などは、すっかり社会人顔になっているが、研究室では入ってくるなり学生時代の顔に戻

てしまうのがほぼ笑ましい。絆を目の当たりにするようで教師冥利につきる。先の警察官もOBである◆今日は卒業式。学生時代を懐かしく思い出すにつけ、大学と自分との見えない絆に気づくことがあるだろう。途切れたように見えても、私たちはいつもどこかで繋がっている。再び絆を結ぼうという強い気持ちさえあれば、再会は難しくない。社会に出るとさらに多くの絆をつくると思うが、一本一本の糸を大切にしてほしい。糸はいつか太い綱になることだろう。卒業おめでとう。

卒業生に贈る言葉 ~教育後援会会長・駒澤会会長・同窓会会長からのメッセージ~

教育後援会 一在校生父母の会一

真剣で素直な心持ちで

以前、発展途上の若々しい国から、技術者を目指す、皆さんと同じ年頃の学生をお迎えする機会がありました。いつも周囲を明るく、また時に感動させる彼らの瞳は光り輝き、真っ白な歯で笑っていた光景が今も忘れられません。どうして彼らの瞳は輝き、たえず明るい笑顔で接することが出来るのか。その後、真剣かつ素直な姿勢で学ぶ彼らを見て、なるほど、と察するのに時間はかかりませんでした。真剣で迷いのない瞳は輝き、素直さは笑顔を生むものなの

ですね。

これから社会に船出する皆さん、今は少しばかり曇り空で元気に欠ける社会ですが、どうか皆さんの真剣で素直な心持ちそのままに元気に船出されてください。皆さんの輝く瞳と朗らかで明るい笑顔は、社会を元気にする明日への希望です。皆さんのご健闘を心よりお祈り申し上げます。ご卒業おめでとうございます。



教育後援会会長
松浦 雅人

駒澤会 一卒業生父母の会一

目標に向かってチャレンジ

ご卒業おめでとうございます。

十数年間の学校での教育を終え、社会へ羽ばたく区切りの時です。育み支援してくれたご父母を始め、お世話になった大勢の方々が期待しています。しかし、皆さんがこれから進む世界は、厳しく混沌とした社会・経済情勢であり、自然災害の脅威も記憶に新しいところです。直面する色々な事は、困難を極めるかも知れませんが、駒澤大学で学んだ「智慧と精神」で乗り越えて欲しいと思います。

今、スタートする人生を着実に進めるためには、目標と具体的な計画を決めて行動する事を勧めます。PLAN-DO-CHECK-ACTIONを繰り返す事により、結果は大きく変わります。「一生勉強、常にチャレンジャー」は、私のモットーとしている言葉であり、行動の原点と考えています。皆さんも常に向上心を忘れず、粘り強く目標に向かって積極的にチャレンジして自己実現を図って欲しいと思います。更なる活躍を祈念しています。



駒澤会会長
井上 俊夫

同窓会 一駒澤大学・駒澤短期大学卒業生の会一

同窓生としての絆

駒澤大学開校130周年を迎える記念すべき年に、本学を卒業・修了する皆さまに心よりお祝いを申し上げます。そして、大雨・地震の被災地域にお住いの保護者の方々におかれましては、一日も早い復興と穏やかな生活に戻りますことを祈念いたします。

駒澤大学同窓会は現在会員数21万人を超え、卒業時の住所を基に各都道府県支部に分かれて活動しており、全国に55支部あります。卒業と同時に皆さまは支部会員となり、これからは母校を外から支

える柱となり、在校生の活躍を見守り、応援していただきたいと思っています。卒業後5年が経ちますと大学よりホームカミングデー招待状が届きますので、学生時代の仲間との再会や母校の現状を見ていただき、同窓生としての絆を一層深めてください。

駒澤大学の伝統と禅の教えがこれからの人生に深く根ざしたものとなり、どのような試練にも耐え、常に前を向いて歩んでいただくことを願い、お祝いの言葉といたします。



同窓会会長
越後 宏允

駒澤大学同窓会からのお知らせ

- 卒業時の住所により、各都道府県支部に登録されます。卒業後に住所変更等をされましたら事務局までお知らせください。
- 全国に55支部を擁し、各支部では総会・懇親会・支部ごとの交流会を行い、結束を強め、母校を応援しています。
- 卒業後は年1回「同窓会だより」が届きます(毎年9月発行)。各支部の活動や大学の近況がわかります。未着の場合は住所不明者扱いになっておりますので、必ずご連絡ください。

同窓生総数21万人!皆さまの積極的な参加協力をお待ちしています!

事務局連絡先 TEL 03-3418-9189 FAX 03-3418-9190



奨学金授与式

同窓会事務局(4階)

学園を去るにあたって

～卒業生からのメッセージ～

友人に恵まれた4年間

私の駒澤大学での4年間は、サークルの活動と運営と一緒に頑張った先輩、同期、後輩、アルバイトを通じて知り合った友人、学部でともに学んだ友人など、たくさんのよき友人に恵まれた4年間でした。

そんな4年間の中で印象深いのは1年の冬に1週間、2年の春に3週間、シンガポールを中心に東南アジアを旅したことです。仏教学部の友人と行ったこの旅行は、大学で学んだ日本とアジアの仏教の違いを肌で感じるとともに、仏教の奥深さ・素晴らしさを知ることができ、その後の学問のモチベーションにもなりました。また、このような旅行を通じてできた異文化の友人たちと仏教について、それぞれの宗教について直接語り合うことができたことは、絶対に学生の頃にしかできない貴重な体験だと思います。この経験をいかして常に学ぼうとする姿勢を持って、大学で学んだ知識をさらに自分なりに深めてきたいと思います。また、このような充実した大学生活ができたのは両親のおかげであり、感謝の思いでいっぱいです。本当にありがとうございました。

最後に、学部やそのほかでお世話になった先生方、ゼミや卒業論文でお世話になった佐藤教授、本当にありがとうございました。

仏教学部仏教学科4年
郷 宗房

大切な“人との出会い”

大学生活の中で、さまざまな人との出会いがありました。中でも印象に残っているのが、ゼミ活動での出会いです。

大学2年の時に非営利組織について学ぶ松本ゼミに入り、まちづくりプレゼンテーション大会に参加したり、用賀商店街の活動に参加したり、3年間で多くの方々と出会いました。用賀商店街の活動では、商店街の方々と協力し、用賀の新聞を作成したり、お祭りに参加したりすることで地域の活性化に取り組みました。地域の方々とふれあい、皆さんの笑顔と出会う度に、卒業後も地域に貢献できるような仕事をしたいと考えるようになりました。

私は、4月から地方銀行で働きます。大学時代の経験を踏まえて、これからも人との出会いを大切にしていきたいです。

最後に、商店街の方々、松本先生、ゼミの仲間たち、出会えた全ての皆さま、本当にありがとうございました。

経済学部経済学科4年
渡部 香織

成長させてくれた4年間

私は、社会学科に在籍すると共に、4年間陸上競技部に所属しました。学問とクラブ活動の両立は大変でしたが、競技者としての2年間の選手生活と、選手をサポートする2年間の主務生活は、私を大きく成長させてくれました。

大学三大駅伝では、全日本大学駅伝で二度優勝することができましたが、正月の箱根駅伝では一度も優勝することができませんでした。箱根駅伝で勝つことができなかったことは残念ですが、私の4年間に悔いは一つもありません。いろいろな方に出会い、さまざまなご声援、ご支援をいただき、皆さまの支えがあってこそその陸上競技部だったと実感しました。

4年間支えてくれた両親、監督、素晴らしい仲間、支えてくださったすべての皆さまに本当に感謝しています。これからは、駒澤大学の卒業生として誇りを持って頑張っていきます。

文学部社会学科
社会学専攻4年
高木 将希

4年間の経験を活かして

私は診療放射線技師を目指して、放射線や医学に関する知識が全くない状態で入学しました。それからの4年間、授業や実験、病院での臨床実習を通して、技術的な面だけでなく医療人としての心構えも身につけることができました。その中でも、臨床実習で見たチーム医療の一員として活躍する先輩の姿がとても印象的でした。読影の補助という役割も新たに加わり、医学に関する知識がより一層求められるので、常に研鑽を積み重ねなければならないと実感しました。

4月から勤務する横浜市立大学附属病院・市民総合医療センターでは、患者さんからも他の医療職の人からも信頼される診療放射線技師を目指し、日々精進していきたいと思っています。最後になりましたが、充実した大学生活を送れたのは先生方、学部の方々のおかげです。本当にありがとうございました。

医療健康科学部
診療放射線技術科学科4年
浜尾 真寿美

大切な4年間

駒澤大学で過ごした4年間は、私にとって最も大切な時間であったと思います。サークルでは応援指導部ブルーベガサスのプラスバンド部に所属し、硬式野球部や陸上競技部の応援活動に力を注ぎました。全力を尽くして戦う選手たちを目の前にし、感動を覚えたことはもちろん、応援できるということが駒大生としての誇りでもありました。

応援指導部の仲間、喜びも苦しみもすべてを分かち合ってきた大切な存在です。このような仲間と出会うことができ、4年間で共に過ごしたすべての時間は、駒澤大学に入学しなければ得られませんでした。

また、学科やゼミにおいても、夢や目標を持ったたくさんの友人と出会うことができました。それが刺激となり、私自身も何事に対しても努力することができたと思います。

4年間、本当にありがとうございました。

経営学部経営学科4年
高野 聡子

Experience is the best teacher

4年間の学生生活は「人との出会い」が全てでした。

ゼミでは教授や個性豊かで信頼できる仲間と、宿舎や企業訪問、中国3都市訪問を無事に終えることができました。

就職対策講座の同士と喜びを分かち合い、彼らと共にタイへ訪問し、現地の大学生と文化交流を果たしました。アルバイトでは、同僚と切磋琢磨し、上司や老若男女様々な国籍のお客様から社会や組織の中で働く大切さを学びました。英国の語学学校へ留学した際には、ホストファミリーが毎日長時間会話してくれたことで、積極的に英語を話せるようになりました。

語り尽くすことのできない多くの方々と出会えたことで、異なる価値観や他国の文化に触れることができた貴重な日々となりました。私を成長させてくれた方々に感謝をすると共に、これらの経験を新たな社会人生活への糧にして活かしていきたいと思います。

グローバル・メディア・スタディーズ学部
グローバル・メディア学科4年
霜鳥 晃子

勉強以外に得たもの

私が駒澤大学の政治学科に入った理由は将来、政治家になるためでした。

しかし、入学当初の私は政治家になるための具体的な行動が出来ずにいました。その最中、基礎演習の担当教授であった三竹先生に、「政治家の方の事務所でボランティアをしてみてもどうか」とアドバイスをいただき、その事務所でボランティアを始めました。そして、有権者の方々の話に真摯に耳を傾ける代議士や仕事に誇りを持っている秘書やボランティアの方々の姿を見て、大学の勉強以外にも大切なことを学びました。

入学当初は政治家の方の事務所で働くことなど絶対できないだろうと決めつけていました。しかし、思い切ってやってみたら、大学では体験できないことができたのです。このような体験を後押ししてくれた三竹先生と、素晴らしい人々に出会えた大学にとっても感謝しています。

法学部政治学科4年
大古 真史

卒業される皆さんへ 学部長からのメッセージ

ご卒業、おめでとうございます。

昨年の東日本大震災から1年が過ぎました。復興が、そう簡単ではないことは多くの国民が認識し、また被災地を思い、そして自分自身の生き方を改めて問い、考えていく姿勢をさまざまな形で表しています。その意味ではこうしたことが、今後の我が国のあり方をも大きく方向づけていく契機となるのだと考えられます。

本学に学ぶ皆さんや同窓生・関係者のなかにも、被災の影響を受けられた方々がおります。胸痛む思いです。

ところで50年後、我が国は人口の約4割が高齢者であるとの報道がありました。その頃の我が国、そして世界はどうでしょう。卒業される皆さんの50年後といえはほとんどが70余歳ですから、まさに高齢者の一角を皆さんが占めているということになりま

しょう。果たして大震災からの復興は遂げられているのでしょうか。復興過程は、歴史的に伝え、検証していかねばならない課題でしょう。そう考えますと、そこに到る50年間で皆さんがどう過ごしていくかということは、とても大切なことであるといえます。

つまり50年後にむけた日本の歩みは、皆さんの「双肩」にかかっているといてもよいと思います。今後の皆さんの活躍に期待いたします。もちろん「今年卒業される皆さんが特別だ」ということではありませんが、しかし、本学を今年巣立つ皆さんには、とくに申し上げたいと思います。このように述べますと、将来起こりうるいろいろな事象から逃げたくなってくるかもしれません。でも、そうではないでしょう。

皆さんは本学で、確かな「学」を修めた存在です。それは皆さんが備えている人格

に、本学が旃檀林から420年、さらに大学として開校130年を経る過程で培われてきた伝統と「力」そのものが、確かに根付いているということでもあります。

校歌の一節「信誠敬愛」を思いつつ、「自ら閃く」べく学んだ感性を、社会で澁刺と発揮されることを願って止みません。

(M.K.)

仏教学部
文学部
経済学部
法学部
経営学部
医療健康科学部
GMS学部
総合教育研究部
法科大学院

永井 政之
久保田 昌希
百田 義治
松村 格
高井 徹雄
山本 裕右
福家 秀紀
遠山 博雄
日笠 完治

平成23年度 学長賞表彰

学長賞 1団体と15人 学長奨励賞 8団体と16人に授与

学長賞および学長奨励賞は、学業・善行・研究・文化・体育などの分野で目覚ましい活躍をし、大学の名誉高揚に多大なる貢献をした者、または学生団体を称える賞です。

学長賞を受賞した在校生・学長奨励賞受賞団体・個人へは、3月14日に表彰式が執り行われました。

学長賞受賞団体と学長賞を受賞した卒業年次生は、3月25日の卒業式において表彰されます。

学長賞

人物及び学業または研究業績とも優秀な者

▶ 取得科目平均点が100点満点中90点以上でかつ全ての評価がA以上の者

- 伊東 宗一 (禅4)
- 武井 慎悟 (禅4)
- 竹村 義晃 (仏教4)
- 椎名 麻美 (経営4)
- 小菅 正嗣 (診療放射線技術科4)

▶ 博士後期課程(最短期間の課程により学位を取得し研究業績が著しく優れ、研究科委員会の推薦がある者。但し満期退学者が学位論文を申請するため、再入学した者は除く)

- 木村 眞実 (商学専攻3)

研究・文化・体育活動等の分野で目覚ましい活躍をし、大学の名誉高揚に著しく貢献した者又は学生団体

■ 個人の部

▶ 対内外的において、著しい業績をあげた者または学生団体

<空手道部>

- 廣瀬 まり (仏教1)
第7回ジュニア&ガジェット-21空手道選手権大会 21歳以下女子組手-53kg第3位
平成23年度春季関東学生会定期リーグ戦個人戦女子組手優勝
第55回全日本学生空手道選手権大会並びに東西対抗戦 女子組手第3位

<ボクシング部>

- 濱崎 良太 (禅3)
第66回国民体育大会 成年ミドル級第1位
第81回全日本アマチュアボクシング選手権大会 ミドル級第3位
- 楠 朱貴 (歴史4)
第66回国民体育大会 成年ライトフライ級第3位
- 林田 太郎 (経済4)
第66回国民体育大会 成年ライトフライ級第1位
第81回全日本アマチュアボクシング選手権大会 ライトフライ級第2位
- 林田 翔太 (商1)
第66回国民体育大会 成年フライ級第1位
第81回全日本アマチュアボクシング選手権大会 フライ級第3位

<陸上競技部>

- 攪上 宏光 (経済3)
第26回ユニバーシアード競技大会 日本代表
ハーフマラソン第4位
- 油布 郁人 (経営2)
第26回ユニバーシアード競技大会 日本代表
5000m14着

<サッカー部>

- 林堂 眞 (現代応用経済4)
第26回ユニバーシアード競技大会 日本代表
全日本大学選抜デンソーカップ第8回日韓大学定期戦 国際試合代表
- 湯澤 洋介 (政治3)
第26回ユニバーシアード競技大会 日本代表
全日本大学選抜デンソーカップ第8回日韓大学定期戦 国際試合日本代表

■ 団体の部

<陸上競技部>

- 第43回全日本大学駅伝対校選手権大会 優勝

学長奨励賞

人物及び学業または研究業績とも優秀な者

▶ 研究論文、ゼミ等で優秀、又はユニークな研究業績を挙げた者で、複数の教員の推薦がある者

- 渡邊 大希 (商3)
税理士試験2科目同時合格

研究・文化・体育活動等の分野で目覚ましい活躍をし、大学の名誉高揚に著しく貢献した者又は学生団体

■ 個人の部

<ボクシング部>

- 志渡澤 和広 (仏教2)
第66回国民体育大会 成年ライト級第5位
- 星島 義樹 (国文2)
第66回国民体育大会 成年ライトフライ級第5位
- 安納 佑樹 (経済1)
第66回国民体育大会 成年フライ級第5位

<空手道部>

- 三村 桃子 (歴史3)
第22回関東学生空手道体重別選手権大会 女子55kg級優勝
- 飯島 希 (社会4)
平成23年度秋季関東学生会定期リーグ戦個人戦女子組手優勝
- 佐藤 光介 (法律4)
第22回関東学生空手道体重別選手権大会 男子84kg級優勝

<陸上競技部>

- 久我 和弥 (社会3)
第43回全日本大学駅伝対校選手権大会 第5区区間賞
- 高瀬 泰一 (商4)
第43回全日本大学駅伝対校選手権大会 第7区区間賞
- 窪田 忍 (経済2)
第23回出雲全日本大学選抜駅伝競走 第6区区間賞
- 上野 渉 (政治3)
第43回全日本大学駅伝対校選手権大会 第4区区間賞

<囲碁部>

- 兼坂 修平 (経済3)
第48回全日本学生囲碁十傑戦 準優勝

<居合道部>

- 南原 健裕 (経済4)
第26回全日本学生居合道大会 個人の部準優勝

<卓球部>

- 鈴木 大地 (経営1)
2012サフィール国際オープン (スウェーデン・オレボロ) 国際試合連盟代表

<所属団体なし>

- 清水 皇輔 (政治3)
第29回ジャパン・オープン硬式空手道選手権大会 組手男子一般無差別準優勝
ユーロオープン硬式空手道選手権大会 成年男子形優勝
- 竹内 純 (診療放射線技術科3)
第23回全日本学生テコンドー選手権大会 男子マッソギ-57kg優勝

■ 団体の部

<文学部 坪井ゼミ3年>

高大連携の地域貢献イベント活動への貢献
①第2回 生きている図書館@駒澤大学&駒大高校主催 後援:世田谷区教育委員会/世田谷区社会福祉協議会 協賛:世田谷区法人会/玉川法人会/世田谷区商店街連合/世田谷区工業振興協会 ②「生きている図書館」開催により「社会人基礎力養成グランプリ2012」関東地区予選大会準優勝 主催:日本経済新聞社



▲坪井ゼミ

▼長山ゼミ



<経済学部 長山宗弘ゼミ>

産学官金連携の福井県小浜市における地域活性化プロジェクトへの貢献
「若狭おばま維新2011」における「小浜地域活性化プラン」の提案 協力:小浜市役所・商工会議所・信用金庫

<経済学部 瀬戸岡ゼミ3年>

第58回日本学生経済ゼミナール北海道学園大会プレゼン部門 社会問題分野 第1位

<経済学部 瀬戸岡ゼミ4年>

民間企業の商品開発への参加
日本酒開発時のコンセプトワーク



▲瀬戸岡ゼミ (4年)

▼金山ゼミ



<GMS学部 金山ゼミ「とどけ!ぼくたち、わたしたちの声」プロジェクトチーム>

被災地の子どもたちの声をまとめたラジオ番組の制作

①赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業へ採択 ②全国30局以上が放送、各種メディアで紹介

<空手道部>

- 平成23年度春季関東学生会定期リーグ戦 男子1部優勝
- 平成23年度秋季関東学生会定期リーグ戦 男子1部優勝 女子1部優勝

<相撲部>

- 第60回東日本学生相撲リーグ戦 1部昇格

<体操競技部>

- 第65回全日本学生体操競技選手権大会 1部昇格

学長賞受賞者のコメント



日々 成長

仏教学科1年
廣瀬 まり

このたび、学長賞という名誉ある賞をいただいた事、とても光栄に思います。

私は、駒澤大学の空手道部に所属しており、学生である以上、文武両道を目指しています。空手は、幼い頃からやっていて、空手を通してたくさんのことを学んできました。その中でも、私は日々の生活面から、主体変容を心がけています。主体変容とは、「環境や他人を変えることはできない。自分が変わるしかない。」という意味です。自分自身と向き合い、どんなことも乗り越えていくことで、強く成長していけるのだと思います。スポーツに限らず、目標設定が大切だと思います。目標を明確にすることで、今、自分が何をすべきかわかってくるのです。私にも目標があります。それは、日本一、世界一になることです。そして、駒澤大学という名を全国、世界へと広めていきたいです。そのためにも、何事にも全力で日々成長したいと思います。



感謝、 義理、恩

経済学科4年
林田 太郎

まずはじめに、この度学長賞を受賞できてとても光栄です。私はこの賞を受賞させていただくのは4年連続4回目です。したがって今は達成感と恐縮の気持ちでいっぱいです。自分で言うのもなんなのですが、このような輝かしい結果を出せたのも、私の周りにいるすべての人たちの支え、応援があったからこそだと感じています。感謝しかありません。また恐縮の気持ちがあるのは私の実力以上に結果がついてしまったからです。

さて、これから先、社会というリングで戦うこととなりますが、学生時代同様、周りの方々の応援を背に精進していきたいと思っています。社会のチャンピオンになれるかわかりませんが、一歩ずつステップを上がり恩返しできれば最高です！ いつまでも感謝の気持ちを持ち続けて今の自分にできることを精一杯やりたいです！ 4年間本当にありがとうございました。

駒澤大学最高です！！



仲間に 感謝

現代応用経済学科4年
林堂 眞

この度、学長賞という大変榮譽ある賞をいただき、とても光栄に思います。私たちサッカー部は、関東大学サッカーリーグ、総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント、全日本大学サッカー選手権大会の3つの大会で優勝するために日々練習に励んできました。結果こそ実らなかったものの、これまでの日々は確実に一人ひとりの糧となり、これからの飛躍に繋がっていくと確信しています。

駒澤大学での4年間はサッカーだけでなく、人として成長することができました。まだまだ未熟なところばかりですが、駒澤大学での経験を生かし、これからも成長していきたいと思っています。

これほど有意義な4年間が送れたのは、サッカー部監督である秋田先生をはじめスタッフの方々やサッカー部の仲間がいたからだと思います。そしてサッカー関係のみならず、大学関係者の方々、ゼミの仲間などの協力、応援にも同様に感謝したいと思います。

これからも駒澤大学卒業生として誇りを持ち、日々精進していきたいと思っています。

学長賞受賞団体のコメント

三大駅伝三冠を目指して 陸上競技部

この度は、学長賞という大変名誉ある賞をいただき、誠にありがとうございます。この賞を受賞できるのも、応援と支援してくださる皆さま方の支えがあったからだと感じております。

我々陸上競技部は、大学三大駅伝といわれる、出雲・全日本・箱根の三大会の優勝を目標に日々の練習をしています。今年度は出雲駅伝二位、全日本大学駅伝優勝、箱根駅伝二位という結果で終わりました。全日本大学駅伝で優勝できた事はチームとしてもとても嬉しかったのですが、箱根駅伝の二位という結果に、悔しさばかりが込みあげてきます。優勝した東洋大学の勝利に対する情熱を上回るよう

これまで以上に強い気持ちを持って練習に励み、次年度の三大駅伝三冠を目標に頑張っていきます。もう私たち陸上競技部には、優勝しかありません。部員全員が一つの目標に気持ちを注ぎ、只管打坐ならぬ、只管打走の精神で勝利にこだわったレースをしたいと思っています。今後も変わらぬご声援をお願いします。



(主将 経済学科3年 攪上 宏光)

サークルの活動報告

陸上競技部

陸上競技部窪田忍選手が、 関東学生新記録の好走

～第66回香川丸亀国際ハーフマラソン～

2月5日(日)、香川県丸亀市の県立丸亀競技場をスタート・ゴールとする21.0975kmの公認コースで開催された第66回香川丸亀国際ハーフマラソンにおいて、招待選手として出場した窪田忍選手(経済2)が、1時間1分38秒の好タイムで、第7位に入賞した。

この試合には、ハーフマラソン世界歴代4位のマシュー・キソリオ選手をはじめとするトップランナーも出場しており、ハイレベルのレースとなった。

中盤までの日本選手のトップ集団には、本学OBである高林祐介選手(トヨタ自動車)、平野護選手(安川電機)、窪田選手ら駒大OB・現役選手が揃い、レベルの高さを見せつけた。最後はトラック勝負となり、競り勝った高林選手が日本人トップの5位、窪田選手が7位入賞を果たした。窪田選手は、自己記録を3分以上も更新し、関東学生新記録を樹立。同じく出場した攪上宏光選手(経済3)は、自己

新記録の1時間1分56秒をマークし20位であった。

このレース結果に窪田選手は、「(実力のある)駒大OBが何人も出場していたので、しっかりついていこうと思い走りました。ラストは、力不足で離されましたが、いつものレースとは違い、前半から積極的なレース運びができ、しっかり後半も粘れたことは、自信に繋がりました。まだまだ自分よりも強い選手たちがいるので、堂々と戦えるようこれからも頑張ります」。3年生として迎えるシーズンでの更なる活躍が期待される。(広報課)



©陸上競技マガジン

卒業生の皆さんへお知らせ

卒業証明書、成績証明書等の申し込み

窓口申し込み、郵送申し込みの2つの方法があります(電話・FAX・Eメール等による申し込みは受け付けません)。

【窓口申し込み】

公的機関発行の身分を証明するもの(運転免許証・パスポート・健康保険証・住民票記載事項証明書・登録原票記載事項証明書等)を持参のうえ、直接来校してください。

【郵送申し込み】

以下の4点を封書で郵送してください。

★公的機関発行の身分証明書

※コピー可

★必要事項記載用紙

- ①氏名(卒業時氏名・フリガナ併記。英文証明書希望者は欧文氏名も併記してください)
- ②生年月日
- ③入学年月・卒業年月
- ④学部・学科
- ⑤学生番号
- ⑥フレックスA・Bの別
- ⑦卒業時の本籍都道府県名
- ⑧証明書種類・必要部数(厳封の要・不要を記入してください)
- ⑨使用目的・提出先
- ⑩連絡先(住所・電話番号・日中連絡のつく電話番号も併記)

★証明書発行手数料(切手)

1通300円

(英文による証明書は1通600円)

★返信用封筒

長形3号封筒 23.5×12cm

宛先明記・送料分の切手貼付

【申し込み先】

〒154-8525

東京都世田谷区駒沢1-23-1

駒澤大学教務部 証明書係

☎03-3418-9121

なお、夏季・冬季休業中、及び学校行事等で事務取り扱い日・時間の変更になることもあります。お問い合わせください。

駒澤大学のホームページ

(<http://www.komazawa-u.ac.jp/>)で、申込用紙(必要事項記載用紙フォーム)のダウンロードも可能です。

卒業アルバムの発送について

卒業アルバム購入申し込みをされた方へ

卒業アルバムは、5月中の発送を予定しています。

予定を大幅に過ぎて届かない場合は、下記までご連絡ください。

★卒業アルバム問い合わせ先

駒澤大学学生部学生係

(学生部①番窓口)

☎03-3418-9064

卒業後の図書館利用について

卒業後も図書館を利用できます。来館の際は、1Fカウンターで、身分を証明するもの(運転免許証、卒業証明書等)を提示し、所定の「図書館利用願」に記入し、館内利用の手続きを行ってください。

貸出が受けられる貸出登録手続き等詳細は、図書館ホームページをご覧ください。

(http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/library_guide/sotsugyousei/)

★問い合わせ先

図書館情報サービス係

☎03-3418-9165

総合情報センターから

卒業生および修了生の方へのお知らせ

卒業生および修了生の方のユーザIDは、3月31日をもって削除されます。

これにともない、個人データはメールも含めてすべて削除されますので、ご注意ください。

大学からのお知らせは、駒澤大学ウェブサイトへ

